

## オフシーズンを利用して 船の点検・整備を行いましょ



整備・点検を行うことにより次のようなメリットがあります。

★船体各部の状態を把握することができます。

★不具合箇所を整備することでトラブルの防止に繋がります。

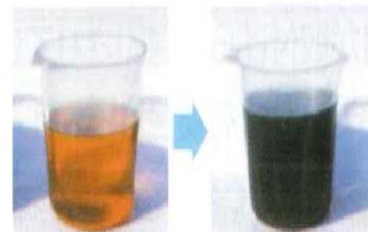
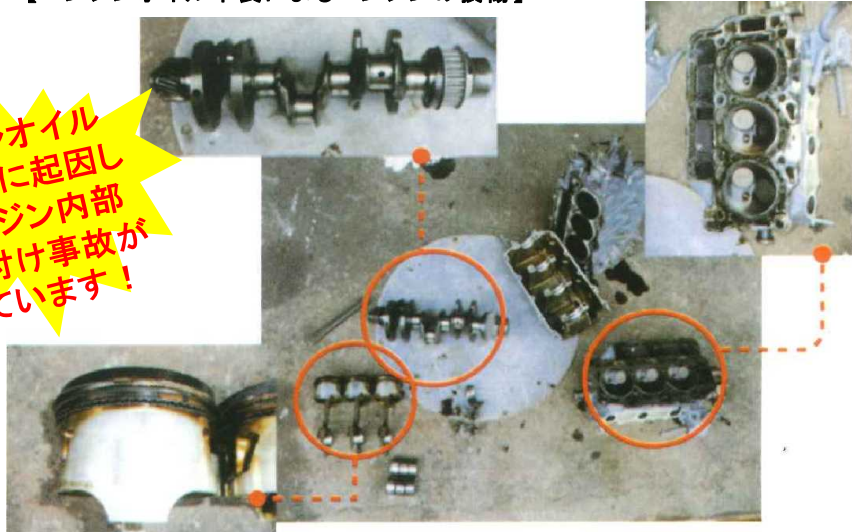
### ①エンジンオイル、エンジンオイルフィルターの定期点検（船外機・船内機共通）

エンジンオイルは、劣化や汚損が進むと使用本来の役割が果たせず故障の原因になります。長期間使用すると性能が低下するので、一定時間毎に全量交換をお勧めします。同様に各フィルターの交換や清掃も必要です。

※交換の目安 エンジンオイル⇒A重油 250時間／軽油 500時間  
エンジンオイルフィルター⇒オイル交換時に合わせて交換をお勧めします

【エンジンオイル不良によるエンジンの損傷】

エンジンオイルの劣化に起因したエンジン内部の焼付け事故が起きています！



【エンジンオイルの劣化】



【エンジンオイルフィルターの劣化】



【防食亜鉛の比較】

### ② 防食亜鉛(アノード)の交換

防食亜鉛は、自ら腐食することで金属部の腐食を防止する働きをしています。交換を怠ると船体・エンジンの金属腐食を促進するので定期的な交換がお勧めです。

※亜鉛が1/2以上減っているものは交換をお勧めします

## 第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1  
(代表)022-363-0111  
(直通)022-365-9609



マリレよろず屋 検索

マリレ情報よろず屋URL>>> <https://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/yorozuya/>

### ③海水ポンプ(インペラ・海水こし器・吸込口)の点検

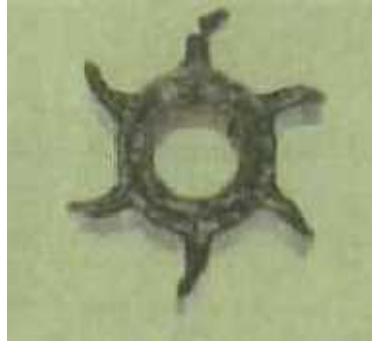
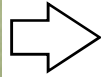
吸込口や海水こし器の目詰まりやインペラの破損は、オーバーヒートの要因になります。

**インペラは消耗品です。運転時間や使用期間に応じて交換をお勧めします。**

※交換の目安 年に1回程度



正常なインペラ



磨耗と破損したインペラ



海水汙し器のゴミ詰まり

### ④長期保管中は燃料を満タンに！

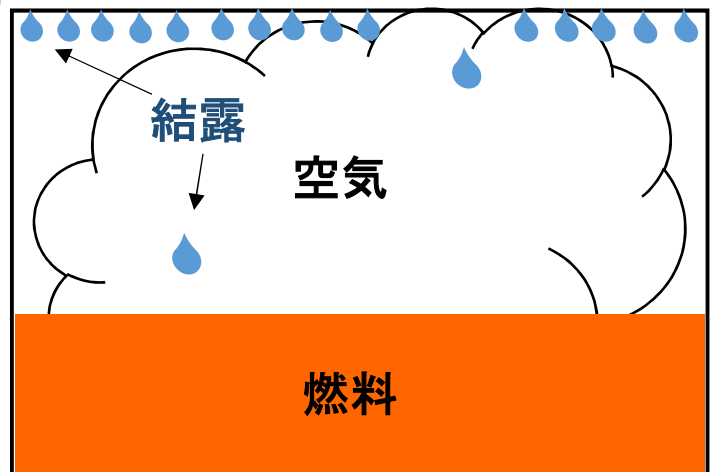
長期間使用しないときは、結露により水が燃料に混入しないよう

- 完全に燃料を抜く方法
- 満タンにしておく方法

の2パターンがあります。

燃料タンクが大きい場合は、満タンにする方法が有効です。

**タンク容量一杯まで燃料を満たして、空気を排除しましょう。**



タンク内の様子

※燃料搭載時には燃料が吹きこぼれないように注意しましょう！！

よく起きる故障箇所の定期点検について記載していますが、船やメーカーによって点検事項や消耗部品の交換時期が異なります。詳細は、取り扱い説明書やマニュアルに従ってください。



機関故障を未然に防止するためには、定期的に整備・点検を行うことが最も重要です！

**整備業者に点検整備を依頼**しましょう。

※写真提供『(一社)日本船用機関整備協会』



マリレ情報よろず屋  
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版  
サイトはこちら



# 安全な航海計画を立てましょう！



## 【事例】 薄暗い時間に航行し、漁具に絡索

10月下旬に船長は、最近購入したプレジャーボートで友人2名と釣りに出掛けた。

午後4時ころになり周りが薄暗くなってきたことから、帰港を早めるため、陸岸沿いに航行することとした。

初めて航行するルートであり、周りに多数の漁具があることから、見張りのため友人を船首に立たせ航行した。

友人が「ロープ！」と叫んだことから、直ぐにクラッチを中立としたが、間に合わず漁具に絡索し航行不能となった。

幸い、乗船者にケガはなかったものの、自船を救助するために漁具を切断することとなった。



無理のない

航海計画

事故を起こしてしまうと**自船の修理**が発生するばかりか、最悪の場合被害者への**多額な損害賠償**が発生することがあります。

出港する際は、以下のポイントを確認しましょう！！

1. 海図等による運航経路の確認
2. 最新の天気予報の入手
3. 冬季は日没時刻にも注意
4. 運航中は常時見張りの徹底



## 釣りを安全に楽しむために、必要な装備を装着しましょう！

### 【最低限必要な装備】



#### ①ライフジャケット

体格にあったものを選び、ベルトやファスナーは確実に締めて、適切に着用しましょう。

#### ②釣り場に応じた履物

釣り場は、水辺に近いことから苔などにより、滑りやすくなっています。滑り止め効果の高い靴底、かつ脱げにくい靴などの点をご確認いただき、適切な履物をお選びください。

#### ③通信装備（防水ケース入り携帯電話）

水に濡れたり、水面に落としても沈まず使用できるように防水ケースに入れて持ち運びましょう！

## 釣り中の事故に注意！

### 【事件事例1】

事故者（ライフジャケット着用）は、友人と2名で波高3mの中で磯釣り中、突然の大波にさらわれ海中転落した。友人は海上で手を振る事故者を認めたため、118番通報で救助要請を行った。その後、海上保安庁により救助されたものの、搬送先の病院で死亡が確認された。

釣り中でも**最新の気象・海象情報**を入手し荒天が予想される場合は、中止や早めに切り上げましょう。



### 【事件事例2】

事故者（ライフジャケット未着用）は夜釣りを行っていたが、飲酒したうえ、ヘッドライトを使用していなかったこともあり、誤って防波堤上から岩場に転落して、身体を強打したことによる骨折、骨折した骨による内臓損傷等の重篤な負傷を負った。

釣りをする際は**飲酒を控え**、必ず**ライフジャケット**を着用しましょう。また、周囲や足元が見えるように**ヘッドライト**を装着しましょう。



マリンレジャーの疑問はこちら 

Water Safety Guide

海上保安庁

